



平成24年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月30日

上場取引所 東

上場会社名 アイ・ケイ・ケイ株式会社

コード番号 2198 URL <http://www.ikk-grp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金子 和斗志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 登田 朗

TEL 050-3539-1122

四半期報告書提出予定日 平成24年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第3四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第3四半期	10,001	15.7	1,484	95.4	1,421	99.5	681	—
23年10月期第3四半期	8,644	△8.7	759	△49.4	712	△49.9	△84	—

(注) 包括利益 24年10月期第3四半期 681百万円 (—%) 23年10月期第3四半期 △84百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第3四半期	96.06	95.54
23年10月期第3四半期	△11.42	—

(注) 当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記では、当該株式分割の影響を考慮し、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第3四半期	12,231	5,583	45.6
23年10月期	12,159	5,143	42.3

(参考) 自己資本 24年10月期第3四半期 5,583百万円 23年10月期 5,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	0.00	—	23.50	23.50
24年10月期	—	0.00	—	—	—
24年10月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成23年10月期の配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しております。

3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,230	8.9	1,870	40.4	1,800	41.6	890	314.7	125.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年10月期3Q	7,437,000 株	23年10月期	7,399,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年10月期3Q	362,436 株	23年10月期	256 株
-----------	-----------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年10月期3Q	7,096,821 株	23年10月期3Q	7,398,812 株
-----------	-------------	-----------	-------------

(注) 当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割の影響を考慮し、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。なお、自己株式については、当四半期連結会計期間末に従業員持株信託口が所有する362,000株を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年11月1日から平成24年7月31日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州における債務危機の再燃や長引く円高等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ウェディング業界におきましては、平成23年の婚姻件数が66万組（厚生労働省「平成23年人口動態統計」）とやや減少傾向にあります。一方、ゲストハウス・ウェディングの需要は底堅く推移しております。一方で、専門式場やホテルのリニューアル、価格競争の激化、顧客ニーズの多様化等により、業界内の競合は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「お客さまの感動のために！」という経営理念に基づき、感動のウェディングを実現するため、接客力の向上を目的とした社内外の集合研修や階層別研修を実施したほか、当社独自の営業支援システムを活用した分析等により、多様化するお客さまのニーズに的確に対応する体制の構築に取り組んでまいりました。既存店、新規店の特徴としては、東日本大震災の影響により業績の回復が懸念されていた「ララシャンスいわき」（いわき支店）の業績が想定以上に好転し、前連結会計年度にオープンした「キュージーンズ フランセーズ ラ・シャンス」（富山支店レストラン）及び「ララシャンスベルアミー」（盛岡支店）が業績の向上に貢献しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,001百万円（前年同四半期比15.7%増）、営業利益は1,484百万円（同95.4%増）、経常利益は1,421百万円（同99.5%増）、四半期純利益は681百万円（前年同四半期は84百万円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

前連結会計年度にオープンした上記2店舗の稼動に加え、「ララシャンスいわき」（いわき支店）の業績が想定以上に好転したほか、開業関連費用が減少したこと等により、売上高は9,740百万円（前年同四半期比16.1%増）、営業利益は1,460百万円（同96.7%増）となりました。

② 葬儀事業

売上高は260百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は24百万円（同38.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ71百万円増加し12,231百万円となりました。これは主に、現金及び預金が576百万円増加した一方で、売掛金が93百万円、有形固定資産が274百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ367百万円減少し6,648百万円となりました。これは主に、短期借入金400百万円、未払法人税等179百万円それぞれ増加した一方で、買掛金186百万円、長期借入金697百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ439百万円増加し5,583百万円となりました。これは主に、四半期純利益681百万円の計上による増加と剰余金の配当86百万円による減少のほか、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の導入による信託契約に基づき自己株式の取得及び売却を行い、自己株式が172百万円増加したことによるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.3ポイント上昇し45.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月23日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（1）株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

第2四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,609,153	2,185,293
売掛金	244,460	150,985
商品	81,088	91,485
原材料及び貯蔵品	69,567	56,979
その他	224,996	158,449
貸倒引当金	△5,627	△3,133
流動資産合計	2,223,639	2,640,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,956,417	6,543,133
土地	1,643,983	1,643,983
その他(純額)	317,443	456,570
有形固定資産合計	8,917,844	8,643,687
無形固定資産	107,259	96,447
投資その他の資産	910,571	851,091
固定資産合計	9,935,676	9,591,227
資産合計	12,159,315	12,231,287
負債の部		
流動負債		
買掛金	638,164	451,370
短期借入金	—	400,000
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	1,160,570	1,026,417
未払法人税等	188,077	367,841
賞与引当金	161,491	89,476
その他	851,095	855,868
流動負債合計	3,069,398	3,260,974
固定負債		
社債	80,000	45,000
長期借入金	3,071,143	2,508,151
退職給付引当金	69,409	75,896
役員退職慰労引当金	210,660	228,277
ポイント引当金	45,891	50,309
資産除去債務	270,792	274,785
その他	198,308	204,692
固定負債合計	3,946,204	3,387,111
負債合計	7,015,603	6,648,085

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,568	342,342
資本剰余金	340,224	351,718
利益剰余金	4,467,036	5,061,819
自己株式	△115	△172,678
株主資本合計	5,143,712	5,583,201
純資産合計	5,143,712	5,583,201
負債純資産合計	12,159,315	12,231,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年7月31日)
売上高	8,644,421	10,001,199
売上原価	3,918,178	4,456,245
売上総利益	4,726,242	5,544,954
販売費及び一般管理費	3,966,351	4,060,431
営業利益	759,890	1,484,523
営業外収益		
受取利息	353	199
受取手数料	3,104	2,897
負ののれん償却額	858	—
その他	3,082	3,310
営業外収益合計	7,399	6,406
営業外費用		
支払利息	45,126	34,396
株式公開費用	4,000	22,187
その他	5,715	13,188
営業外費用合計	54,841	69,772
経常利益	712,447	1,421,157
特別利益		
災害保険金	66,558	—
特別利益合計	66,558	—
特別損失		
固定資産除却損	14,056	5,546
減損損失	650,612	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51,978	—
災害による損失	131,663	—
特別損失合計	848,310	5,546
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△69,303	1,415,611
法人税、住民税及び事業税	265,423	661,546
法人税等調整額	△250,230	72,346
法人税等合計	15,192	733,892
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△84,496	681,718
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△84,496	681,718

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△84,496	681,718
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△84,496	681,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84,496	681,718
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年11月1日至平成23年7月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年7月31日)

当社グループの報告セグメントは、婚礼事業及び葬儀事業であります。葬儀事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」の導入による信託契約に基づき自己株式の取得及び売却を行っており、取得による増加が191,530千円、売却による減少が19,057千円となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が172,562千円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は172,678千円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。